

# 議員全員協議会

日 時	令和5年11月6日(月) 閉会中	8時58分 開会 12時07分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 植田博巳 副議長 15番 村田博英	
	1番 石山和生 2番 谷口恵世 3番 絹村智昭	
	4番 名波和昌 5番 加藤 彰 6番 木村正利	
	7番 松下定弘 8番 種茂和男 9番 濱崎一輝	
	10番 原口康之 12番 太田佳晴 13番 中野康子	
	14番 大石和央	
欠席議員		
事 務 局	局長 田形正典 次長 本杉裕之 書記 植田容子 書記 本杉周平 書記 中田 綾	
説 明 員		
傍 聴		

署名 議長

---

[午前 8時58分 開会]

---

## 開会の宣告

### ○議長（植田博巳君）

皆様、改めまして、おはようございます。ただいまから、議員全員協議会を始めさせていただきます。今日の全員協議会が現体制の最後になりますので、これまでの関係議員の委員会の報告をしていただきたいと思います。

それでは、ただいまから議員全員協議会を開催いたします。

---

## 2 議長・関係議員・委員会報告 (1) 会議等の結果

### ○議長（植田博巳君）

通常の議員全員協議会で、開会の後に、議長・関係議員・委員会報告を行っておりますので、その流れでしたいと思いますけれども、お願いいたします。

今までどおりの流れでいきますので、お願いいたします。

最初に、議長・関係議員・委員会報告をお願いしたいと思います。

最初に、会議等の結果報告をお願いいたします。

先に私のほうから会議等の報告を行いたいと思います。

10月16日ですけれども、千葉県鴨川市議会総務常任委員会の行政視察がございました。内容は、対話による協働のまちづくりについてということで、行政視察がありまして、挨拶をさせていただきました。

次に、10月17日ですけれども、第104回の全国民間空港所在都市議会協議会臨時総会が出雲市役所で行われました。当牧之原市が副会長になっておりますので、出席をしてみいました。

最初に役員会がございまして、臨時総会の運営及び提出議案の協議をさせていただきました。引き続きまして、臨時総会が開催され、内容的には空港整備に係る個別課題の協議を行って、その中で神戸市議会の個別課題が追加で可決されております。

令和4年度の歳入歳出決算、それから令和5年度補正予算が承認、可決されております。

令和6年度の分担金につきましては、国際航空輸送網または国内航空輸送網の拠点となる所在都市が4万5,000円、それからその国内航空輸送網を形成する上で重要な役割を果たす所在市が4万円ということで、牧之原市は4万円の負担金ということでございます。

次期臨時総会は、開催都市は新潟市ということで決定をいたしました。

それから、10月22日ですけれども、ハワイ州マウイ島山火事の緊急支援ということで、皆さんからお預かりしました義援金をジョン・オオモリ氏にお渡しをさせていただきました。ジョン・オオモリ氏からは、ホノルル市長にお渡しするというので、そういう形でお渡しする形になっております。

また、ジョン・オオモリ氏から、年末にハワイへサーフィンの子供たちが行くということで、もしできれば議員の皆様も、自費ですけれども、行っていただければというようなお話もございました。

10月24日ですけれども、志太榛原五市二町議会議長連絡協議会の議員研修がございました。皆様、ありがとうございました。

同日ですけれども、長野県の富士見町議会、社会文教常任委員会の行政視察がございましたけれども、これは我々の対応ではなくて、行政のほうで対応していただきました。

次に、10月25日ですけれども、松川町の区長会の視察がございまして、私と副議長でその対応をさせていただきました。

それから、10月30日、臨時の全員協議会ということで、牧之原市の義務教育学校施設整備基本構想・基本計画の説明を受けました。

11月4日ですけれども、第18回牧之原市文化祭が、開会式に皆さん出席していただきまして、ありがとうございました。なお、服織田神社の例大祭のほうの神事ということで、私が招待を受けまして、神事に参加させてもらいました。

私のほうからは以上です。

副議長。

#### ○15番（村田博英君）

10月27日、榛原総合病院例月出納検査がありました。介護認定事業、それから総合病院事業会計報告書を監査いたしました。特に大きな問題は起きず、終了いたしました。

続いて、病院組合事業会計、上期の決算報告書が報告されました。債権も大分減っております、当時133億円あった償還金総額が半分以下、60億円を切っているということで、予定どおり進んでおります。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

原口議員。

#### ○10番（原口康之君）

同じく10月27日、例月出納検査が行われております。一般会計、水道会計ともに異常はありませんでした。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

議会広報特別委員会を、引き続きお願いいたします。

#### ○10番（原口康之君）

それでは、議会広報特別委員会です。

10月18日、10月26日と、11月15日発行のかけはしについて、チェックを行っております。

それから、11月6日、先ほど正副の最終の確認を行いました。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

ありがとうございました。

ほかはよろしいですね。

---

**2 議長・関係議員・委員会報告 （2） 議会運営委員会**

**○議長（植田博巳君）**

次に、議会運営委員会から報告をお願いいたします。

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

議会運営委員会です。

10月30日です。まず、令和5年11月の臨時会についてということで、提出予定議案についてということで、本日その説明がありました。

次に、令和5年11月牧之原市議会臨時会の流れということにつきましては、4のその他のところで行います。

次に、議会運営の見直しについてということで、当局より申入れがありましたので、資料1ですけれども、これにつきまして、事務局から概要説明をお願いしたいと思います。

**○議長（植田博巳君）**

次長。

**○事務局次長（本杉裕之君）**

それでは、資料1-1をお開きください。

議会運営の見直しということで、当局から令和5年10月10日付で来たものになります。

左側は前置き等ありまして、限られた人材で最大限の行政サービスを実現するために、様々な分野において、デジタル化の推進を図り、行政手続のオンライン化による業務効率化に取り組んでおります。

これらの状況を踏まえ、市議会における議会運営につきまして、別紙のとおり申入れいたしますので、ご検討いただきますようお願い申し上げますということで、右側の別紙と書いてあるほうで、2点ほど当局から申入れがあります。

ちょっと読みますけれども、まず一つ目。議場内等への電子機器の持込許可についてということで、各課が所管する事業は多岐にわたっており、その資料等も膨大な量になってきております。そうした中で、議員からのご質問に対しましては、迅速かつ的確な回答に努めてまいりたいと考えておりますことから、それに対応するため、タブレット端末を活用した議会運営を実施されている状況を踏まえ、議場及び会議室への電子機器、これは業務用のパソコンに限ります。の持込みについて、許可していただきますようお願いいたしますというのが1点目。

2点目が、一般質問の通告締切日の前倒し等についてということで、一般質問の通告期限につ

きましては、定例会開会日の2日後の正午とされていることと認識しておりますが、事業の多様化に伴い、質問の内容も幅広くなってきていることから、質問に対する関係課が複数となり、短期間に一つの課が複数の答弁を作成するなど、各課の負担が大きくなってきております。

市といたしましては、いただきましたご質問に対し、的確な答弁となるよう努めているところでありますが、答弁の作成に当たり、関係機関との調整や情報収集に時間を要しております。

つきましては、一般質問の通告締切日を本会議開会日（初日）の2日前としていただくとともに、本会議開会日（一般質問実施日）との間を10日間（土日、祝日を除く）確保していただきますようお願いいたしますと、この二つの申入れがありました。

これに伴いまして、10月30日の議会運営委員会で、これに対する回答を協議していただきましたので、そちらの報告を、委員長、お願いします。

### ○議長（植田博巳君）

大石議員。

### ○14番（大石和央君）

そこで、議運で2件につきまして、協議をいたしました。

議運の判断といたしまして、まず1点目につきまして、議場内への電子機器の持込みですね。これは当局の業務用PCに限って許可をしていくということ。それから、議会について、議員は許可しないということで、今回は見送りということで、今後、DX等の状況もありますので、またその辺の見直しというのはいり得るということでもあります。

それから、2点目の一般質問の通告締切日の前倒しにつきまして、これにつきましては、令和6年度は議会も努力した上で質問等、内容をそれぞれ努力をして、論点整理をきちんとした中でやっていくということで、現状維持ということで、様子を見ることといたしました。

今後、それでも改善ができないということになれば、再度、議運の中で検討することになるというふうに考えます。そのように議運としては判断をしたわけであります。

そこで、資料1-2として、申入れの回答につきまして、まず1点目の議場内の電子機器の持込みにつきましては、ここに書いてあるとおりに、議場及び会議室への電子機器の持込みについて、許可をするということ。

それから、2点目につきましては、申入れの日程変更については十分に検討する必要があり、調査協議するため当面は、現状を基本として考えることとしますと。また、市議会においても、質問の論点を明確にするよう努めていきますというような回答をするということといたしました。

この件は以上であります。

そして、次に、陳情（要望）等の取扱いについてであります。

資料2であります。学校教材の計画的な整備推進についてのお願いというものが来ておりますけれども、いずれにしても郵送でありますので、議員配布といたします。

以上、報告を終わります。

2 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

○議長(植田博巳君)

次に、総務建設委員会、お願いいたします。

太田議員。

○12番(太田佳晴君)

総務建設委員会の報告はありません。

---

2 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

○議長(植田博巳君)

次に、文教厚生委員会、お願いいたします。

中野議員。

○13番(中野康子君)

文教厚生委員会も、同じく何もございません。

以上です。

○議長(植田博巳君)

ありがとうございました。

---

2 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

○議長(植田博巳君)

次に、議会広報特別委員会、お願いいたします。

原口議員。

○10番(原口康之君)

先ほど報告したとおりです。

---

2 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

○議長(植田博巳君)

次に、議会改革特別委員会。

副議長。

○15番(村田博英君)

議会改革特別委員会も、報告事項はございません。

---

3 協議事項 (1) 11月10日(金)「令和5年11月牧之原市議会臨時会」について

○議長(植田博巳君)

次に、3番の協議事項に入らせていただきます。

11月10日(金)「令和5年11月牧之原市議会臨時会」についてということで、協議させていた

だきたいと思います。

本日は、改選のために予定されております11月10日、金曜日の臨時会が申合わせのとおりスムーズに行えますよう、議員全員協議会を開催しております。よって、本日の協議事項は、臨時会の議事に沿った協議となります。

11月10日、金曜日の本会議では、議長ほか全て指名推選で行うことを最初に確認いたします。これについて、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

次に、アの議長の選出についてを行います。

ここで、申し合わせを確認いたします。議員全員協議会において、選挙で選出し、本会議では指名推選とする。立候補制ということで、立候補者は抱負を述べていただき、それぞれの方に聞きたいことがあれば、質疑として行います。

次に、選挙立会人を指名して、投票用紙を配布し、順次、投票、開票、選挙結果の発表ということで、進めさせていただきます。

投票では、1回目で過半数に達しない場合は、上位二人で決選投票、決選投票で同数となった場合はくじ引きとなります。

以上でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

それでは、ただいまから議長選挙を行います。

立候補される方は、挙手願います。

村田議員、大石議員の二人でよろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

抱負を述べていただきますが、順番をくじにより決めたいと思います。立候補者は前に出てください、順番を決めるくじを引いてください。

〔くじ引き〕

最初に、村田議員から順番に抱負を述べていただきたいと思います。

村田副議長。

#### ○15番（村田博英君）

それでは、私が議長に当選いたしました時には、私の抱負を述べさせていただきます。

まず、一番は大学の誘致を行うことを提言したいと思います。

国交省は、少子化により大学の再編を指示しております。国内800大学を20%減らすということでございます。簡単には、大学が誘致されるとは思っておりませんが、その中でも、なぜそういう提案をしているかということですが、若者がいなくなった理由がそこにあると思っております。

榛南に大学や専門大学がほとんどありません。県内にも魅力のある大学が少ない状況であります。医大は入学が限定的でありまして、お金もかかるので、一般には入学ができません。したが

って、高校を卒業しますと、榛原高校は進学校ですが、去年が192名、皆県外に、全員ではありませんが、行ってしまうと。Uターンは30%という実績であります。

今年、文教厚生委員会で、ご存じのように岡山県奈義町に行ってまいりましたが、それがいい例になると思うので、改めて申し上げますと、奈義町はご存じのように、特殊出生率が2.95と、国内日本一であります。ただ、奥町長は非常に危機感を持って、10年前8,000人いた町民が、現在5,000人。ただ、出生率が2.95と高いのは、出生数が10年前と変わらない200人であるということです。したがって、特殊出生率が日本一となったという内容でございます。

非常に危機感を持った町長は、子育て支援とか、子供を産みやすい、育てやすい施策を行っております。ただ、高齢者層からは、なぜ若い人ばかりに力を入れるのかというようなことの批判があったようです。それは選挙結果に5票差ということで表れていると思います。

ここで、何で人口が減っているかということ調べますと、奈義町には高等学校がない。それから、鉄道がない。これは、牧之原市と非常に似た状況だなど。ゆでガエルという言葉がありますが、急に10年たつわけではないんですね。ゆでガエルというのは、よくことわざに使われますが、鍋にガエルを置いて、火をつけると最初は温かいので居心地がいい。しかし、だんだん、だんだん熱くなって、動けなくなってしまう。気がついたときには死んでしまうということで、よく使われます。

こういうような状態が10年前起きていたのではないかと思います。農業の衰退もそうですが、後から言いますが、非常に牧之原市と奈義町は、大小の違いはあれ、似ているなというふうに思います。

なぜ、大学、簡単に誘致はできないと思いますが、するのかということになりますと、3点専門学校に足りないものがあるんですね。

これは、IT関連の学校。これは人材が非常に減っておりまして、AIとか半導体は全て技術者が不足しております。半導体はご存じの方もいらっしゃると思いますが、熊本県菊陽町、これは土地が10倍上がって、台湾からも来ている、ソニーも入っている、日立もシャープもということで、非常な賑わいを呈しています。

それから、北海道千歳、これは知事が夕張の市長をやった鈴木さんという方ですけど、この方が北海道知事になったんですね。半導体をやろうというので誘致しております。北海道は半導体ランドと言われておりまして、何兆円というお金がどんどん生み出されております。

でも、半導体の工場というのは、クリーンルームをつくらなきゃいけないし、それから膨大な水と土地が必要なんですね。そういう地理的な条件を考えますと、牧之原市はちょっと無理かなと。それから、もう手おくれだなということで、やはりIT産業を支える専門学校をつくったらどうかということで、今、私は議員活動しております。

それからもう一つ、アニメの学校であります。アニメは今、世界一、皆さんご存じのように、鬼滅の刃とか、るろうに剣心とか、角川とか、そういうのでナンバーワンでございます。韓国もいいんですが、やはり日本の技術力が非常に高く評価されております。30分の動画に300人必要

なんですね。これはみんな若い人はやりたがっているんですね。順番待ちという状況になっております。

あともう一つは、日本語学校、これを必要とされています。今、東南アジアの留学生、非常に困っております。順番待ちです。悪徳な業者もいますので、就労すると、その後、派遣会社が派遣するというパターンになっておりますが、公設できちんと教えてくれる学校を探しています。これは今、山梨から三島でも始まっておりますので、この三つの専門学校をつくることによって、空いた小学校、そこを使えると。それと、地域の活性化、これに結びつけられるというふうに私は思っております。これをぜひ、これをやるのは期間はかかります。でも、今やらないと、どんどん遅れていってしまう。各地方、首長はやっているところ、やり始めているところが多いです。静岡県ではちょっと見当たらないですけど。

これをやることによって、地域、今さっき言ったゆでガエルじゃないですけど、牧之原市が消滅するかもしれない、この危機感をもっと持って、それで議会から提言をしていくと。そして、行政が実際行うわけですので、それは議会としてしっかりした提言をしていくということを行っていききたいなと思っております。

自民改革会議というのが県議会にあります、あそこは今度、インドの人材交流ということで始めております。こういうことも相まって、今しかチャンスがないのかと、今乗り遅れると、本当に小中一貫校をやって、どんどん減っていくというパターンになりがちだなという、私も危機感を持っております。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

次に、大石議員、お願いいたします。

#### ○14番（大石和央君）

議長選に立候補しました、大石和央です。

牧之原市が誕生し、また議会が誕生し、今年で18年たつわけであります。そうした中で、議会をどのように運営していくのか、この牧之原市議会をどのように今後、努力しながら発展させていくのかということの一端をお話をしたいと思えます。

私は、この間、18年間、議運の委員長を3度経験しております。そして、総務建設委員長を1回、そして副議長を1回経験しているところであります。こうした中で、今の議会の在り方ということを考えますと、非常に懸念しますというか、憂慮するという事態かなというふうに思っています。

先ほど、当局より申入れということで報告をさせていただきました。特に一般質問に対して、当局から、何とか期間を長くしてほしい、6日から10日間、四日も延ばしてほしいと。こうした通告から一般質問まで、そのように長く期間を取らなければ当局として答弁がうまくできないよというようなことであります。

これは何を意味するかというと、当然行政側にも問題はあるでしょうが、特に議会側に問題が

あるんだということでもあります。それは、これまで、この6日間でやってきたものが、ここへきて、延ばさなければ当局が質問回答が作成できないというような状況が生まれているということなんです。それだけ、議員の問題を作成する質問力が落ちてきているということを証明しているものであります。

やはり、いろいろ経験することは非常に重要なことです。しかしながら、やはりここをきちんとこの一般質問を作成することから、どうこの牧之原市議会が行政に対して政策を提言できるかということにもつながっていくので、ここを磨いていかなければならないということでもあります。そういうことを考えますと、一般質問だけではなくて、いわゆる議会全体の力が落ちてきているということを、行政当局としては言いたいということだと私は受け止めました。それだけ重大な当局からの指摘というか、申入れだったんです。

今までこんなことはありません。私は議運の委員長として、こういう議事日程を変えるなんてことに関しては、突っぱねますよ、普通。当然です。議会が議会の日程を組むわけですので。

しかし、私としては、突っぱねることはできませんでした。今の現状を見ると、果たして議員としての役割を果たしているのか。議会として本当に機能しているのかということ、非常に懸念したわけなんです。そこを考えて、これからどう牧之原市議会をつくっていくのか。

私は、1期で当選されてきた方々の議員研修をしています。そうした中で必ず言ってきたのは、私たちがこの牧之原市議会の歴史をつくっていくんだと。今まさに18年つくってきたんですけど、今までのやはり基礎というものをきちんと固める、その上でさらに市議会が発展していくというか、市民のために役立っていくと、そういう恒常的なものを積み重ねてやっていかなければならないということでもあります。そういう思いで新人研修に対しましては、そのところを自覚を持って、私たちが牧之原市議会の歴史をつくっているんだと。基礎をつくっているんだという思いでやってくださいということ、たしか言ってきたということ。記憶にないかもしれませんが。そういうことでやってきました。

そこで、やはりこうした状況の中で、どのようにしていくのかということで、私はまず、議会基本条例、ここをきちんとやりましょう。議会基本条例も、過去つくってきたんですけども、現状で合わないところも出てきますし、さらに市民との関わりの中できちんとしたものをつくっていかなければならない、そういった意味では、議会基本条例を改正していきながら、より自立にしていく。そして議員活動を活発にしていくということが必要だと思います。その一つとしてはやはり、以前からも言っているように、議会が見える化する、市民にきちんと議会というものはこういうものだというのが伝わっていかなければならないということ、これはやらなければならないし、やはり私は、この間も言ってきましたけれども、市民が議会に参加する、こういう仕組みというものをきちんとつくることこそ、市議会がより充実し、そして政策提言や政策を当局に訴えられると。政策づくりもできるというような議会にしていきたいというふうに考えております。

以上、私の議会としてやっていきたいと、議長としてやっていきたいというのは、そのとこ



ということで、謝罪をいたしました。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

中野議員。

**○13番（中野康子君）**

今後どのようにそのことを考えるのかというのが、全く言われていないですよ。

それから、議会だよりも知らされた、皆様の声の中にもあるんですけども、特別な極小の字で誰にも読めないように、知られたくないようにしているのですかというふうにしっかり書かれています。だから、今のお話の中でですけども、今後、対外的にいろいろな議会、それから全国の議長会にも出ていかなければならない中で、このことについて、いまいちどしっかりとした決断の意を聞かせていただきたいです。

**○議長（植田博巳君）**

村田議員。

**○15番（村田博英君）**

何度も申し上げますが、大変申し訳なく思っております。今後は気をつけるようにいたします。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

それでは、村田議員に質問したいと思います。

先ほど、議長選に当たっての抱負を述べられましたけれども、正直がっかりしました。というのは、議長選に当たり、議長として何をやっていくか、それは議会運営をどのように変えていくか、今の議会の悪いところ、また良いところも当然あるかとは思うんですけども、そういったものをどのようにしていくかということが、議長選に当たり、この2年間の議会のリーダーとしての抱負だと思うんです。それが大学の誘致、それは持論としては、それはそれで持っていることは、構わないと思います。

ただ、大学誘致については、私の記憶だと、20年近く、この牧之原市が始まった当時になりますけれども、スズキ自動車のほうで組立工場が稼働して、当時よく、鈴木修会長が牧之原市を訪れました。そのときに、そのような、このまちに大学があればとかという話はよく出ました。

それと、やはりその当時ですけども、榛原総合病院が地域医療の崩壊ということで、非常に厳しい状況になりました。何度も何度も吉田町議会、また牧之原市議会が集まり、再建について、いろいろな方法を聞きました。そのときにもやはり、医師がこのまちにいないのはそういった学校がないからだ、そういったお話を聞きましたけれども、それから20年来、たっております。

これは、今、少しお話ししましたけれども、市長選で首長が言うようなことなんです。公約としては、だから、それは先ほど言ったように、考えることは結構でございます。ただ、それでは

具体的に今、その一点だけで議長選で村田議員が言われたのは、それをこの牧之原市は今後2年間、もし村田議長になられた場合は、進めるんですか。強い意志を持って、具体的にどのように進めるということを、我々はそれについていかなければならないんです。ときの議長に。それをもう少し具体的に、唯一の方針ですから、示してもらいたい。

それと、議会として議会運営をどのようにしていくか、これは一点もなかったんです。そのことについて、もし考えているならば、一つでも言ってください。

それと、今、中野議員から質問がありました原発の再稼働問題です。これは平成23年9月26日、牧之原市議会が永久停止の決議をしました。これはすぐ全国発信されて、牧之原市議会が注目され、以来、牧之原市議会は永久停止の決議を、一応決議ということですので、それを議会の決めごととしてはきております。

ただ、その間に社会環境が大きく変わりまして、毎年それ以来、牧之原市ではアンケートを市民にしておりますけれども、だんだんこの比率が変わってきて、やはりこういったエネルギーが非常に厳しい状況になって、市民生活に影響を及ぼしている中で、それと、原発のほうも大きく安全・安心に向けた対策が進み、そういったことで、市民もかなり考え方が変わってきていると思うんです。アンケート結果を見ますと。そのときに、いずれ、この牧之原市議会として判断をしなければならぬときが来ると思うんです。国が方針を出し、また、県が出し、そのときに関係4市のそれぞれの市議会の考え方として、基本的な方針を出していかなければならぬときが来ると私は思うんです。そのときに、ただ、この牧之原市議会が、一番御前崎市に近い立地市、御前崎市に近い牧之原市として、パートナーとして、黙ってそれを見ている、これは私はなかなかできないことだと思うんですけれども、その方針で村田議員はずっといくのか、そのことについて、お尋ねします。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

村田議員。

#### ○15番（村田博英君）

何点かありますが、関連ですので、まず、私の大学を誘致するという提言について、一点しかないというご指摘ですが、私はこれは非常に大きな課題、牧之原市にとって大きな課題だと思っています。

今まで、10年を計にということで考えた施策というのはないと思います。ウェイブプールは10年かかりました。一回白紙に戻りまして、消えかかったんですけど、あれとはちょっと違うんですけど、中身的にも、その方向性も。今度はアリーナができます。これもちょっと違うんですね。

潜在力がある牧之原市ってよく言いますが、空港もあって。柱がないように私は思えてならないんです。その柱というのは、教育なんです。教育をきちんとやれる場所、要するに高校を出たら県外に行っちゃうんじゃないかと、ここでやれる何かがあるはずなんです。それを提案す

るのが、さっきのIT技術者の育成とアニメ、それから日本人学校。今、日本人学校、留学生は高校教育を受けていない。それから、日本語は多少分かるけど専門用語は分からないということで、日本で働きたい、安全安心な日本で働きたいという人が大勢いるんですね。順番待ちなんです。そういうことに着目して、それで、あのウェイブプールも10年かかっているんです。10年とか20年ぐらいかかるんですね。だけど、さっきから言っている、今手を挙げなければ駄目なんですよ。遅いんです、もう。これはぜひ、議会として提言していきたいなというふうに、私は強く思っております。

それと、若者がやはり、昔、三ちゃん農業と言ったんですよね。おじいちゃん、おばあちゃん、おかあちゃんってね。その三ちゃん農業は高度成長期の話なんです。それがもう随分たちますが、そのときにそういう状態でずっとそのままなんですよ。ゆでガエルと言っては申し訳ないんですけど、そういう状態で、何も手を打ってこなかったなという、そういう思いがしております。

周りを見ますと、農業をやっている方はほとんどおじいちゃんか、おかあちゃんもおばあちゃんになっていますから、非常に大変な状況で、農業は深刻だと思います。これは、袋井なんかはベトナムの人なんか来ていますけど、日本人が足りない、間に合わないところは、海外のそういう方を、日本で働きたいという方を支援する、そういうところをつくってあげないと続かないだろうなというふうに思っているの提案であります。

それから、原発の件なんですけど、これは永久停止をやってから、平成23年ですから、10年ちょっとたつんですかね。これにつきまして、今ウクライナの戦争とか、中東でも始まって、油が上がって供給ができないかもしれない。これはCO2削減どころではないということになったときに、日本の施策としては、これは原発再稼働を余儀なくされるのではないかとというふうに、私個人は思っております。

そのための努力を、浜岡原発も、いろいろ見ているとやっておりますので、これにつきましては、私が何も止めているわけではないので、ぜひそういう流れになりましたら、検討の余地はあるのではないかなというふうに思います。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

あと、議会運営についてという質問がございましたので、全般的に。

#### ○15番（村田博英君）

議会運営につきましては、今、大石議員がご指摘のとおり、一般質問がもうちょっと勉強しないといかんかなというのは、今議会の中でも、何度か議運の中で出ました。絞れと言っているわけではないんですね。あまり縛ってしまうと、自由さがなくなると、何を言いたいのか、一般質問ですから、質問する内容をきゅっと絞って、それで詰めていくと。そういうことでないと、話が散漫しちゃって、ヒアリングの際も大勢の方を集めるというようなことにもなりかねないので、一工夫も二工夫も必要かなというふうには思います。

それからあと、議会全体としては、この15名でやるわけですから、全般的には前植田議長のおやりになってきたことを踏襲するということになると思います。

ただ、私としては、なるべく風通しのいい、意見が言いやすい議会運営を心がけるべきだなというふうには思っております。

それはどういう内容だということになりますと、日々のやり取りとかでありますので、こうだこうだということは、いろいろと差し支えがあることもありますので、控えますけど。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

分かりました。大学の誘致って、そんな簡単なものじゃないと思うし、今この場で先ほど言ったように、議長選に臨む抱負ではないような気がしました。ただ、村田議員が議長になり、それを進めることを一つの一番大きな目標としているなら、それはそれで頑張ればいかなと思います。

それと、原発の問題ですけれども、先ほど最初に言ったことと、最初に言ったことで中野議員が質問したときの答えとかなり違うような気がしたんです。だから、議長ってしっかり自分の意志を持って議会をどのように持っていくかということをしっかりやらないといけないと思うんです、当然のことですけれども。合議体ですから。

ただ、合議体とはいっても、それぞれの議員の考え方は違うものですから、そこをどういうふうに治めるかというのが議長としての一番の難しい大事な仕事になるかと思うものですから、それにはやはり自分がどう考えるということを、しっかり自分の中に持っていないといけないと思いますので、特にこの原発再稼働の問題は、いつというのは、これは誰も我々は分かりませんけれども、いつか必ず来る問題です。決断をしないとならないときが。だから、牧之原市議会として、周囲のまちに恥ずかしくないような、しっかりした方向性が出せるような、それは市民に対しても当然です。厳しいこともやはり市民に対して示さなければならないのが議会だと思しますので、それはしっかり持ってってもらいたいなと思います。

それと、一番大事な議会運営についてですけれども、今何がこの議会に足りなくて、そのために私は何をこうしていきたいということが、全くないんです。それが一番大事なことだと思うんです。議運の委員長の先ほどの報告を受けて、そのことを今、取ってつけたように言っただけで、本質的なものをもっとしっかり、もし議長を目指すならば、自分の中に置いて議会運営をやってもらいたいなと、そんなふうに思います。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

では、まず村田候補にお伺いいたします。

議会運営について、今質問されていたところで、私も関連させてください。IT技術などおっしゃっていて、行政側もDXを進めたいということだったと思うんですが、議会はDXを進めるべきだと思うかどうかをお伺いさせてください。

**○議長（植田博巳君）**

村田議員。

**○15番（村田博英君）**

DX、担当部局もできましたので。ただ、担当部局ははっきりまだ、こういう方法でというのは言っていないので、今考えているというようなことなので、それはこれからやると思いますが、議会としてはオンライン化を進めていきたいなというふうに思っています。

ただし、どの部分をやるのか、また行政も行う予定なので、効率よく擦合せをしながら進めていったらどうかなど。要は連携していく必要があるのではないかとこのように思います。

取りあえず、議会報告会で試験的に行ってはどうかというふうに思っております。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

方向性としては進める方向だが、進め方は検討ということで認識いたしました。

大石候補にもお伺いいたします。

一般質問の質が落ちたからと断定されていたと認識しております。行政側が一般質問の日程を増やしたい理由は、一般質問の質が落ちていったからだとして断定したと認識しています。その断定した根拠を教えてください。

**○議長（植田博巳君）**

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

一般質問の質が落ちたということですね。こういうことなんです、実は。要は、当局としては、今までまさに6日の猶予をもってして答弁書が作成されてきたということで、明確に論点整理がされてきたと私は理解しています。

今期になりまして、度々当局から漏れ聞くところですけども、また、ほかから耳に入るところなんですけど、又聞きというか。そういう中では、やはり一般質問をやっていて、ヒアリングもやっっているが、論点がずれてくるというような、そういうようなことも言われて、これでは通告制とか、あるいはヒアリングとかという、そういう効果がなされていないということに通じるんじゃないかと思うんですね。

そういうことであってはならないという意味で、今までと比較すると、そういう質問力というものが落ちているということでもあります。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

そこの趣旨は理解しております。なので、断定しているということは、それこそが理由でありという認識なんでしょうか。ほかの可能性もいろいろあるんじゃないかと私は思うんですが、断定をされるというのは、その理由であるというふうにおっしゃっているということなので、ほかの候補などは何かあって、お話しされているのか、お伺いいたします。

**○議長（植田博巳君）**

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

結局、あなたがどう思っているか分かりませんが、1期生として入ってきた中で、当然どうしたらいいのかというのはまず分からないところがあるんですね。それはそうだと思うんです。ですから、自分が問題に対して当然質問するわけなんですけれども、そのときに当たって、やはり何を質問するのか、何を聞き取るのかということが非常に重要なんですね。そここのところに、議員としての質問力というのが問われるわけなんです。そこを明確にしなければいけないということで、かつてはこの期間内で答弁書がつくられたものが、非常に難しくなっていくというのは、そういうことだというのが一点と、それから、そのほかあるのではないかと。

ありますよ。明らかに。それは、議員としてどのように活動するのか。最初の頃、昼休み等々、休みのときに文書をほしいとかいったときがありましたね。そういうことも含めて、私は全部チェックしているわけではないので、分かりません。皆さん胸に手を当てて、本当に当局とのコミュニケーションが取れているのかどうか、その辺はよく分かりませんが、そういうものを含めて考えていく必要があるかということなんです。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

明確に複数個あるとおっしゃっていたので、もう一個、明確なものを、質以外で教えてください。

**○議長（植田博巳君）**

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

まず、本会議質疑、全くありません。これは、ゆゆしき問題ですよ。せっかく発言権がある中で、どうして質疑しないのですかと。本当に皆さん理解しているんですかということですよ。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

私が今話しているのは、一般質問において、日付が延びたと。6日間でできていたのが、今期になって間に合わなくなった、その理由は質問力が低下したからであると、その理由づけを決めた理由を教えてください。ほかにあるんですかと。

**○議長（植田博巳君）**

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

これは当局に聞いてください。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

今、最大の理由を述べてくださいと言って、当局に聞いてくださいとおっしゃいました。これというのは、断定すべきではないと思います。断定をするというのは、しっかりとした根拠が。

今から言いますが、前回以降、6日間でできたのが、今期になって間に合わなくなった、普通に論理的に考えれば、質以外にも量というものがあると思いますが、前期よりも量が多くなったか、少なくなったか、今、ご存じであれば教えてください。

**○議長（植田博巳君）**

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

基本的な量的には、質問人数としては、そんなに大きく変わったわけではないです。多少現在は9人、多くても10人なんですけれども、それは過去でもありましたから、そんなに問題となりません。一人や二人増えたところで、三日間の今、期間を取っているんですね、一般質問。そこに合わせて、この期間というのを設定されているんですよ、そもそも。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

断定するということは、量が明らかに、そこまで変わっていないとおっしゃったわけですよ、今、前期と今期で。件数ではどうでしょうか。

**○議長（植田博巳君）**

議長選の抱負について質問したいことを聞いておりますので。

**○1番（石山和生君）**

今、所信表明でおっしゃっていることがちょっとおかしければ、それは質問するのは当たり前ですよ。それで私が止められるのはおかしいと思うというのが一点と、今言っているのは、質が落ちた理由は、量が多くなったからではないというところが出ていないわけですよ。なのに断定をしているというのがおかしいと言っているんです。

分かりました。もういいんですが、量が増えた、減ったというのは、変わっていないという認識だとおっしゃっていたので、これで客観的にこれは増えていそうだなといたら、それは断定できる状態ではない。僕もそれが理由の可能性はあると思いますが、断定はできないんじゃないかと言っているというだけです。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

大石議員。

**○14番（大石和央君）**

その点だけを取り上げてやっても、どこにも建設的な、あなたも私も建設的な話になるんですか。私は、どう議会を高めていく必要があるということ、今述べさせてもらったんですよ。そこをきちんと一人一人、今受け止めることが必要じゃないですか。

当局から投げかけられている申入れがあった。これを真摯に受け止めて、どう自分たちが変わっていくのか、変えていけるのかということ考えたほうが建設的じゃないですか。

**○議長（植田博巳君）**

石山議員。

**○1番（石山和生君）**

真摯的に受け止めるのは当たり前だと思う。私も受け止めております。その上で、断定するのが違うと言っているだけなので、これはもう大丈夫です。

**○議長（植田博巳君）**

ほかにお聞きしたいことはございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

それでは、お聞きしたいことは以上ということで、それでは投票を行います。

ただいまの出席議員数は15名です。

立会人を指名いたします。立会人に5番 加藤議員と、6番 木村議員を指名いたします。

投票用紙を配布します。

ここで、念のため申し上げます。投票は単記無記名です。

〔投票用紙配布〕

投票用紙の配布漏れはございませんか。

〔投票用紙確認〕

配布漏れなしと認めます。

投票箱を点検いたします。立会人は、点検をお願いいたします。

〔投票箱点検〕

異常なしと認めます。ただいまから、投票を行います。1番議員から順番に投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

投票漏れはございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

投票漏れなしと認めます。

これで、投票を終わります。

これより開票を行います。立会人は立合いをお願いいたします。

〔開票〕

選挙の結果を報告いたします。

投票総数15票、有効投票13票、無効投票2票。

有効投票のうち、村田議員12票、大石議員1票、以上のおりであります。

この選挙の申し合わせによる当選に必要な得票数は、過半数の8票です。よって、村田議員が議長に当選されました。

次に、副議長の選挙を行います。

それでは、ただいまから副議長の選挙を行います。

立候補される方は、挙手願います。

ほかにございませんか。原口議員、1名でよろしいですか。

それでは、ただいま1名ですので、原口議員から抱負を述べてください。

#### ○10番（原口康之君）

副議長選挙に立候補することにいたしました、原口康之です。このような機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。

牧之原市議会基本条例に示されているように、市民に信頼され、市政の情報を広く公開し、住民と共に進む議会を、議会全体を一つのチームとして目指してまいりたいと思います。その上で、日頃から議長の考えをよく理解し、その補佐をして、議員各位の意見に耳を傾け、その調整をしてまいりたいと考えております。

そして、これは私の個人的には、継続審議になっている部分についても検討してまいりたいと考えています。

また、当然ではありますが、議長が欠けた場合はその職務を執行し、市民の皆様の安心安全が守られ、市政の発展につながる議会運営ができるよう、力を尽くします。

議員の皆様方におかれましては、何とぞご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

それでは、皆さんから立候補者に聞きたいことはございませんか。

中野議員。

#### ○13番（中野康子君）

原口候補者にお聞きいたします。同じく原発の再稼働の問題について、どのように今後考えていくのかと、それから議長を補佐するということでもありますけれども、議会運営自体をどのよう

に考えているのか、教えてください。

**○議長（植田博巳君）**

原口議員。

**○10番（原口康之君）**

原発につきましては、まず、国の政策であるというところで、まず市民の安心安全という部分で理解を得てからの話かなと、再稼働に関してはそのように考えております。

そして、議会運営ですが、先ほどから、いろいろな多様な意見が出ますので、皆さんからその多様な意見を聞いた上で、いろいろな調整をしていきたいと考えています。

**○議長（植田博巳君）**

あともう一点、議会運営について、どのように考えているかというご質問がございました。

お願いします。

今、中野議員からの質問で。

失礼しました。

ほかにはございませんか。

中野議員。

**○13番（中野康子君）**

今答えていただきましたけれども、議長を補佐することは一番大切なことでありますけれども、議会運営をしっかりとした形でやっていく。先ほど来、出ている再質問の件に関しましても、実は議員さんは一生懸命やってくれているんだけれども、内容的なものが、質問の内容がまとまっていない部分で、事務局が大変苦勞して、ある程度直してやっている部分がかいま見えています。そして、質問をすると当局から返ってくる、それに対する質問というのが再質問の本来の姿なんだけれども、全くそうじゃない部分があるので、先ほど議運の委員長だった大石議員がそのように申し上げた。それは議会運営委員会の中で出た話でありますので、その辺は理解していただきたいと思います。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

今、原口議員が副議長選ということで立候補されました。一人ですので、そのまま決まるかと思うんですけれども、私、前半、中野議員とともに、それぞれ委員長をやらせてもらいました。それについては、今、この議会では原口議員、濱崎議員が2期生でございます。後半については、2期生の皆さんが委員長をやって、それでこの議会をまとめていくというようなことで、我々も微力ながら前半やらせてもらったんですけれども、高い志を持って副議長に立候補するということは、それはそれでいいかと思うんですけれども、その部分において、私は少し残念な気持ちも正直持っております。それは今後を考えたときでございます。

それで、一つ気になったことなんですけれども、原口候補が、今、継続審議になっているもの

についてやっていきたいということなんですけれども、継続審議になっているものって何なのか、それを少し答えてもらいたい。

**○議長（植田博巳君）**

原口議員。

**○10番（原口康之君）**

前半の部分で少し触れたんですが、継続審議になっている部分というのは、やはり将来のことを考え、前にも議員報酬について少し検討した部分があったんですが、時期尚早だというような意見で、保留になっている部分があったと思います。その件についても継続審議して、市民の皆様に理解できるようなまとまりが議会の中でできたら、ぜひと、その部分で議会報告会できちんとお話をして、市民の理解が得られるような形を目指していきたいと思います。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

副議長になられたら、ぜひ覚えておいてもらいたいんですけども、議会という審査と審議の意味、審議というのは、本会議場で市長から提案されたものについて議員が審議する、それが審議でございます。

今言われたのは、議会内でまさに保留という言葉を行いましたけれども、今後問題としてやっていくもの、それは審議とは言わないんですよ。それを副議長として、今後外にも出ていくんです、議会を代表して。そのときにそういった言葉はしっかり覚えて、副議長の職を務めていただきたい、そんなふうに思います。

**○議長（植田博巳君）**

そのようにお願いします。

ほかにございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

立候補者は一人ですので、原口議員が副議長に当選ということで、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

原口議員が副議長に当選されました。

ここで、暫時休憩とします。事務局で準備のため、10時30分まで暫時休憩といたしますので、よろしく願いいたします。

〔午前 10時20分 休憩〕

---

〔午前 10時27分 再開〕

**○議長（植田博巳君）**

これより議員全員協議会を再開いたします。

先ほど、正副議長が決まりましたので、議席の一部変更の必要があります。申し合わせにより

まして、現在の正副議長を一度元の議席に戻して、新しい正副議長を15番、16番にすることで、配布した議席表のとおりとなりますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

異議なしと認め、決定いたします。

次に、常任委員会委員の選任についてを行います。

常任委員会委員については、原則交代とする。なお、議長は総務建設委員会委員、副議長は文教厚生委員会委員という申合わせであります。また、申し合わせでは、議長は常任委員会委員を辞任することができると思いますが、新議長はどのようにされますか。

新議長。

**○15番（村田博英君）**

委員として、残ります。

**○議長（植田博巳君）**

新議長は所属するということですので、それでは、配布した表のとおりご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

異議なしと認め、決定いたします。

ここで、次に、議会広報特別委員会委員の選任について、カの議会運営委員会委員の選任について、キのその他の役職の承認についてでございます。

ここで、各常任委員会に分かれまして、常任委員会の正副委員長、議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員の選出をお願いいたします。

申し合わせを確認いたします。常任委員会正副委員長は、委員会で互選する。議会運営委員会委員は各常任委員会から3名ずつ、正副委員長と副議長は議会運営委員会の委員となる。議会広報特別委員会委員は、各常任委員会から3名ずつ選出する。以上の申し合わせであります。

よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

では、各常任委員会に分かれて、それぞれの選出をお願いいたします。

総務建設委員会は第1会議室、文教厚生委員会は第2会議室でお願いします。

なお、各委員会で選出しましたら、事務局で名簿を作成いたします。全員協議会の再開は11時をめぐるといたします。しかし、各委員会終了次第、再開しますので、ご協力をお願いいたします。

〔午前 10時29分 休憩〕

---

〔午前 10時59分 再開〕

**○議長（植田博巳君）**

これより、議員全員協議会を再開いたします。

ここで、それぞれの常任委員会での選出結果を報告願います。

最初に、総務建設委員会、報告願います。

濱崎議員。

#### ○9番（濱崎一輝君）

まず、総務建設委員会ですけれども、委員長は、私は濱崎、副委員長が松下議員に決定をいたしました。

議会広報特別委員会に関しましては、石山議員、絹村議員、松下議員の3名となっております。

総務建設委員会からの議会運営委員会に出すメンバー1名ですけれども、加藤議員に決定をいたしました。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

次に、文教厚生委員会、お願いいたします。

谷口議員。

#### ○2番（谷口恵世君）

文教厚生委員会です。委員長は、私、谷口です。副委員長は名波和昌議員。それから、議会広報特別委員会に、私、谷口、種茂議員、木村議員。議会運営委員会には、私、谷口と名波議員、原口康之議員に決まりました。

以上です。

#### ○議長（植田博巳君）

名簿を配布してありますが、ただいまの報告のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

異議なしと認め、決定といたします。

次に、議会広報特別委員会及び議会運営委員会では、正副委員長の選出をお願いいたします。

なお、申し合わせにより、議会運営委員会においては、同時にその他の役職についての選出をお願いいたします。選出していただく役職は、監査委員、充て職の一部事務組合議会議員、都市計画審議会委員です。

はじめに、議会広報特別委員会を第2会議室で開催し、正副委員長を選出していただき、終了後に議会運営委員会を第3会議室で開催し、正副委員長、その他の役職について選出をお願いいたします。

ここで、その他の議員につきましては、暫時休憩といたします。なお、休憩時間は30分ほどをめぐといたしますけれども、議会運営委員会が終了次第、再開しますので、ご承知おきください。

〔午前 11時01分 休憩〕

---

〔午前 11時45分 再開〕

#### ○議長（植田博巳君）

これより、議員全員協議会を再開いたします。

ここで、議会広報特別委員会の選出結果を報告願います。

種茂議員。

#### ○ 8 番（種茂和男君）

委員長のほうは、私、種茂和男が務めさせていただきます。副委員長のほうには、絹村智昭議員にやっていただくようにします。

以上です。

#### ○ 議長（植田博巳君）

次に、議会運営委員会での選出結果を報告願います。

加藤議員。

#### ○ 5 番（加藤 彰君）

それでは、議会運営委員会におきまして決定しました委員につきまして、ご報告させていただきます。

まず、議会運営委員会の委員長につきましては、私、加藤のほうでやらさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。副委員長につきましては、濱崎議員をお願いをいたしました。

次に、一部事務組合議会議員につきまして、まず、次のページになりますけれども、一つ目に、榛原総合病院組合議会議員でございます。議長が充て職ということになっておりますので、議長、そして植田議長につきましては、そのままということでございます。

それから、二つ目の、吉田町牧之原市広域施設組合議会議員につきましても、議長が充て職ということでございまして、変更はございません。

それから、④牧之原市御前崎市広域施設組合議会議員につきましては、議長ということで、植田議長から村田議長へということでございます。

そして、⑨の東遠工業用水道企業団議会議員につきましては、充て職ということで、正副の議長をお願いをいたしております。

そして、最後の監査委員でございますけれども、議員の中から選任される監査委員ということで、植田議員をお願いをさせていただきました。

そして、もう一点は、次の資料になります。追加資料5になります。5のほうの、一番右から二つ目の都市計画審議会委員でございますけれども、これまでと変わらず継続ということで、石山議員、谷口議員、そして絹村議員、そして木村議員と、この4名でお願いをさせていただきます。

以上でございます。

#### ○ 議長（植田博巳君）

ただいまの報告のとおり、配布した一覧表のとおりとなっております。監査委員、充て職の一部事務組合議会議員、都市計画審議会委員、一覧表のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

一点、議会改革特別委員会について、少し考え方を聞かせてもらいたいと思うんですけども、特別委員会設置の目的は、議会として特別に緊急的に調査研究を進める必要があるということで設置されます。これは議決事項ですので、本会議場で議決が必要になります。

それで、議会改革については必要なことであるし、これは議会として進める重要なことでもあります。それは当然分かっていることですが、この2年間を見てみたときに、議会改革特別委員会でやっていたことは、議会改革特別委員会で何をやっていくかと。このような議論に2年間終始してきた、そのような議会改革特別委員会が設置する目的というのが、私は今、ただ今までやっていたからこのまま入れるということだけでは、済まない問題だと思います。

ですから、議会改革特別委員会については、今後どのように議長が議会改革を進めていくか、これが基本になると思うんです。だから、先ほど、所信を述べたときに確認を取ったわけなんですけれども、明確な回答はございません。そういった中で、この特別委員会を設置して、議会として議決までしてやっていく必要があるかどうか、そういった点について、非常に疑問を感じております。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

今、太田議員から議会改革特別委員会の在り方について、質疑がございました。それ以前に、今まで報告があったものについて、先に確認したいと思います。

監査委員、充て職の一部事務組合議会議員、都市計画審議会委員の一覧表のとおり決定すること、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

その件については、異議なしと認め、決定いたします。

次に、議会改革特別委員会の件につきまして、太田議員から、本会議場で議決する事項ということで、これについてはどのようにしていくのかということで、ご質問がございましたので、それについて議会運営委員長にお答えを、どういうふうにしていくのか。

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

基本的には議長ですけども、もう議運のメンバーは発足したわけですので、当然議運の委員長の考え方、また、正副議長の考え方が基本になってこの議会がこれから動いていくということを見ると、しっかりここだけはやっておいてもらいたいなど、そんなふうに思います。

**○議長（植田博巳君）**

村田議員。

**○15番（村田博英君）**

議会改革特別委員会につきましては、今期、市民に開かれた議会というテーマと、議会報告会の見直し、これをやってきました。これは非常に大事なことで、これは私一人の考えではなくて、

皆さんこれからやる議運と、それからこれは一応副議長がやるということになりますが、もちろん私も含めて、課題を整理して進めていきたいと思います。

今現在では、そういうことでお答えするしかないのです。

ということでございます。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

委員長の考えに基づいてということではなくて、議長の考えに基づいて、この議会はこれから2年間動いていくんです。その下で、副議長、またそれぞれの委員長も議長の考えに沿って議会運営を進めていく、これが基本だと思うんです。だから、それをしっかり議長が踏まえていないと、また特別委員会を設置しても、前回と同じようなことになったのでは何の意味もない。2年間、特別委員会を設置して何も進まなかったということではうまくないから、確認をしているわけです。何をやるか、しっかりはっきり特別委員会で方向性が出ていない限り、私は意味がないなど、そんなふうに感じております。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

議会改革特別委員会の方向性につきましては、新議長の中でこれから十分検討していただいて、全員協議会等で報告していただきたいなと私は思いますけれども、それでよろしいですか。

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

それからでは遅くないんですか。議決しなければいけないので。その点を確認をお願いします。

**○議長（植田博巳君）**

次長。

**○事務局次長（本杉裕之君）**

議会改革特別委員会の設置につきましては、前回皆さんが当選されたときに、11月12日に提出している発議の中で、任期としては議員の任期ということで、4年になっています。

ただ、設置期間につきましては、本特別委員会は、この目的が終了するまで、閉会中においても継続して開催することができる、という形になっていますので、目的が終了したようであれば、第3次総合計画のときに特別委員会を設置したように、設置を解除というか、しなければならないんですけれども、このまま続けていくということであれば、特に今回の臨時会で特別委員会の設置をせずに継続という形になります。

議会広報につきましては、こちらにつきましては、委員の任期が選任の日から起算して2年となっておりますけれども、こちらは継続開催することができるという形になっていますので、議会広報を続けていくという形で今、委員長とかも決めていきますので、こちらも議決をせずに継続というような形になりますので、一応2年前に議会で発議したときには、設置は議員の任期とい

う形になっております。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

今、説明を聞いて、改めてそんなふう感じたわけなんですけれども、A、Bに分かれて特別委員会をやりました。それで、Aが議会報告会でしたか、A班のほうは一応副議長のほうから報告を受けて、一応取りまとめたものを報告を受けました。Bのほうは市民に開かれた議会ということで、2年間いろいろな議論をしたようなんですけれども、最終的には合意に至らなかったということで、一つの結果が出ております。

そういったことで、この特別委員会の前半についていえば、目的は終了したというふうに。それで、本当はそれが終了しても、そこからこの2年間は何をやっていくかという明確なものがあれば、それはそれでいいと思うんですけれども、今の状況では全く今日の議長の今後の取組を聞いて、全くそれが見えないから、私はあえて今言っているんですけれども、その点については、どうでしょうか。

**○議長（植田博巳君）**

村田議員。

**○15番（村田博英君）**

私が最初に申し上げました、要するに大学の誘致についてのこととか、それから、まだこれから検討しなければいけないことなんですけど、そういうことと、もう一つは、あまり言うところを取ってつけたような話になるので、これはよく話を聞きながら、皆さんと一緒にやっていかなければいけないと思います。

それと、オンライン化につままして進めていったり、大きなものはその二つを考えております。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

かつて、産業経済特別委員会という特別委員会が設置されたことがありました。牧之原市が始まった当時。それは、スズキ自動車組立工場ができて、これからこのまちで企業誘致をしていく、その中で議会がということだったんですけれども、議長がもし大学の誘致を、そこまで強く考えているなら、大学誘致特別委員会という設置目的をしっかりとやってやったほうが、より効果的な委員会活動ができるんじゃないかなと、そんなふうに思います。

だから、それをもう少しそういったことならもっと検討の余地があると思うんです。ただやみくもに、議会改革特別委員会といっても、今のものは議会改革じゃないと思うんです。議会改革特別委員会の中で、大学の誘致をということはそぐわないんじゃないですかね。

**○議長（植田博巳君）**

村田議員。

**○15番（村田博英君）**

そこは集めてみないと、どういうふうにやっていくのかなというのが、まだ検討の余地があるんじゃないかなと思います。

今日、そういうことで私が議長に当選して、私の抱負は述べさせてもらいましたが、中身については、ある程度詰めてきたつもりですが、それをどういうふうに議会としてやっていくかというのは、さっき太田議員が提案した、特別委員会を新たにつくってやるのか、それとも議連でやるのか、あるいは専門部会でやるのか、その辺も含めて考えていきたいなと思っています。

**○議長（植田博巳君）**

太田議員。

**○12番（太田佳晴君）**

それならば、議会改革特別委員会を設置する必要はないじゃないですかということです。要は。

**○議長（植田博巳君）**

村田議員。

**○15番（村田博英君）**

それは、議会改革特別委員会にも関係するので、ここで方向性ははっきり決められないと思います。よく検討してやりたいと思います。

前回のときも、改選後すぐやったときも、全員の理解が得られないので、なぜこういうテーマにしたのかとか、いろいろなスタートが遅れた経緯がございます。それは僕らの反省材料というんですか、頭に入っておりますので、にわかにここでそういう細部までについては、ちょっと致しかねるので。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

議会改革特別委員会というのは、名前のおり特別委員会でありますので、設置目的とか、そういうのが明確になって、議会改革をするという目的の委員会ということだと思うので、新議長のほうで、どういった議会改革をしていくのか、それが学校というか、誘致が議会改革なのか、私は分かりませんが、この牧之原市議会の議会をどういうふうに改革して、どういうような検討をしていくのかということを出していただいて、後日、設置するというのであれば、正副委員長について、そういった選出もしていただければと思いますけれども。

一応そのような形で、設置目的をしっかりと形で方向性を出していただければというふうに思います。

太田議員、よろしいですか。そういう形で。

そんな形で議会改革特別委員会の設置なり、どういうことをしていくかということ、また方向性を出していただければと思います。その中で、正副の委員長も後日選出していただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

これもちまして、本日予定しました協議事項は以上であります。

会の冒頭確認しましたとおり、10日の本会議では、正副議長、常任委員会委員等、全て指名推選で行うよう、申し合わせされておりますので、ご協力をお願いいたします。

---

#### 4 その他 (1) 令和5年11月牧之原市議会臨時会の流れについて

##### ○議長（植田博巳君）

次に、4番のその他に入ります。

令和5年11月牧之原市議会臨時会の流れについて説明がありますので、お願いいたします。

次長。

##### ○事務局次長（本杉裕之君）

それでは、資料3、臨時会の流れの案というものを開いていただいでよろしいでしょうか。

こちらですけれども、今週金曜日の臨時会の流れの案となります。ここに示しているものは、通常の流れのものとなりますが、本日、議長、副議長、各委員長が決まりまして、若干変わってくるが出てきます。流れ的に説明していきますと、まず、日程第1、第2で通常の流れで入りまして、会期の決定までやったところで休憩に入りまして、議長が辞職願を提出するような形になります。

暫時休憩となったところで、追加議事日程を配布して、次から追加議事日程を審議していくような形になります。

まず一つに、議長の辞職について。次に、議長の選挙。次に、副議長の辞職について。ここですけれども、今回、今現在副議長であります村田議員が議長という形に本日決まりましたので、ここにつきましては、追加日程第3の副議長の辞職についてというのは、これが副議長が議長に就任することを受託したときは、法律上、何らの手続を要せず自動的に副議長の職を失う形になりますので、ここで追加議事日程として副議長の辞職についてをやる必要がなくなりますので、ここがなくなりまして、そのまま副議長の選挙という形になろうかと思われま。

次に、追加議事日程5で、議席の一部変更。追加議事日程第6から第9で、一部事務組合議会議員の選挙、こちらにつきましても、本来議長と正副議長の充て職であります榛原総合病院、吉田町牧之原市広域施設組合、牧之原市御前崎市広域施設組合、東遠工業用水道企業団が、本来は入れ替わりがあることなんですけれども、今回、先ほど報告がありましたように、榛原総合病院組合と吉田町牧之原市広域施設組合につきましては、選出議員が変わらない形になりますので、こちらの二つにつきましては、ここから消えるような形になります。

ですので、当日につきましては、一部事務組合の選挙のところは牧之原市御前崎市広域施設組合と、東遠工業用水道企業団の二つになります。

日程第3、通常に戻りまして、常任委員会委員の選任。日程第4で議会運営委員会委員の選任。日程第5で議会広報特別委員会委員の選任。日程第6で、議案第61号「監査委員の選任について」ということになりまして、最後に追加日程第10で、委員会の閉会中の継続調査についてと、こう

いった日程で当日は臨時会を行うような形となります。

それで、暫時休憩とか休憩のところに追加議事日程の配布というように書かれているものにつきましては、今回一番右下に書いてありますけれども、本日やっただきましたように、その都度、サイドブックスの更新が必要になります。議会フォルダの本会議、11月臨時会の議事日程等というフォルダに追加議事日程を、その都度アップしていくような形になりますので、皆さんはサイドブックスの更新のほうをにかけていただいて、それを確認していくと、そういう流れになりますので、よろしくお願いします。

以上です。

**○議長（植田博巳君）**

ありがとうございます。

この件について、何か質問はございますか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

では、臨時会の流れにつきましては、今ご説明のあったとおりといたします。

次回は、11月10日、金曜日開催の臨時会への参集をしていただきますよう、お願いいたします。

以上で本日の議員全員協議会を閉会といたします。お疲れさまでした。

〔午前 12時07分 閉会〕